

## 5 雇用・社会参加促進プロジェクト ～「満ち足りた」暮らしのための雇用と社会参加の促進～



雇用環境や社会参加の仕組みを整備することにより、県民誰もが持てる能力を最大限に活かすことのできる社会をめざします。

### アクション1 女性の雇用と社会参加の促進

企業・地域社会の意識改革や子育て支援策の推進、女性の就業継続や再就職に対する支援などに取り組み、女性の雇用と社会参加を促進します。

### アクション2 若い世代の雇用と自立の促進

ニートやひきこもりなど支援が必要な若者も含め、若い世代の雇用と自立を促進します。

### アクション3 人生二毛作社会の仕組みづくり

シニアが、その培ってきた知識と経験を活かして、積極的に就業や社会参加を行うことができる「人生二毛作」社会実現のための仕組みをつくりま

### アクション4 障がい者の社会参加と雇用促進

障がいを理解し、障がい者を応援する社会づくりや障がい者が能力を発揮できる環境づくりを進め、障がい者の社会参加と雇用を促進します。

### アクション5 多様で安心できる働き方の検討

誰もが自らの価値観を尊重し仕事と生活の両立が可能な社会をめざすため、多様で安心できる働き方について検討します。



# (1)女性の雇用と社会参加の促進

～女性が能力を活かして活躍できる環境づくり～



## 【取組のポイント】

- 子育て中の女性の就業・創業支援
- 出産、子育てを経ても働き続けることができる環境づくり
- 仕事と子育てが両立できる職場環境づくり

## 現状と課題

女性性有業率の全国順位は第5位(H29)と高いが、育児中に限ると全国順位が第24位(H29)と低下する

出産・育児期に退職した主な理由  
家事・育児に専念するため  
仕事を続けたかったが、育児との両立が難しそう

### 【長野県】

女性の有業率  
**全国5位**  
(52.6%)



25～44歳の  
育児中女性の有業率  
**全国24位**  
(68.0%)

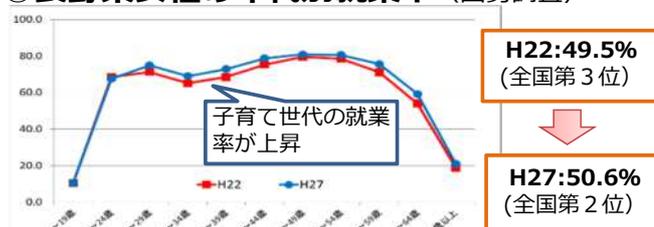
(出典：総務省「H29就業構造基本調査」)

## 主な取組

- 相談から就業までの  
**ワンストップの再就職支援** (H26～)  
身近な地域に出向いて行う就業相談  
託児付きセミナーやインターンシップの実施
- 女性相談員による創業相談(H27.4～)  
や、民間と連携した女性向け創業  
セミナーの実施(H26.4～)
- テレワーカー育成セミナー及び企業  
とのマッチングによる就業支援(H29～)  
IT活用による時間や場所にとらわれない新たな  
働き方の普及

## 成果

- 相談者累計6,888人のうち  
**1,258人が就職** (H26～H29年度)
- 創業相談632人のうち17人が創業  
(H26～H29年度)
- 育成セミナー受講者155名  
うちマッチングによる就業者46名(H29年度)
- 長野県女性の年代別就業率 (国勢調査)



## (2) 若い世代の雇用と自立の促進

～次代を担う人材の育成・確保～



### 【取組のポイント】

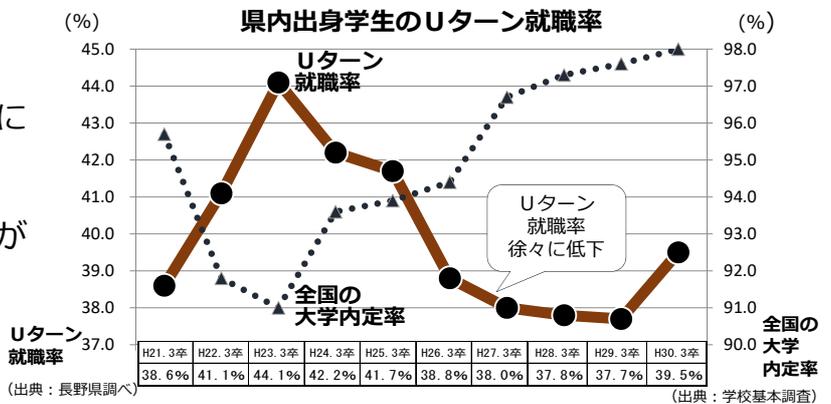
- 若者の就職をワンストップで支援
- Uターン・Iターンなど県内への就職を促進
- ニートやひきこもりなど困難を有する子ども・若者への支援

### 現状と課題

リーマンショック後の景気回復により雇用情勢は改善傾向

県内出身学生のUターン就職率が低下

44.1% (H23.3卒)  
→ 39.5% (H30.3卒)



### 主な取組

- ジョブカフェ信州における個別相談、セミナー等、若者の就業支援
  - ・上田サテライト (H28.6)
  - ・銀座サテライト (H28.10) 開設
- 県出身学生の多い大学とのUターン就職促進協定の締結
- 生活就労支援センター「まいさぼ」を設置し、ワンストップ支援の実施 (H23.3～※前身のパーソナルサポートセンターを含む)
- 「子ども・若者支援地域協議会※」を県内4地域(H29年度末現在)に設置し、社会的自立を支援
 

※ニート・引きこもり等困難を有する子ども・若者を支援

### 成果

- ジョブカフェ信州利用者 (1,148人) の就職率 76.8% : 882人 (正社員59.9% : 688人) (H30.3卒)
- 協定締結校 41校(H28年度)⇒47校(H29年度)
- 「まいさぼ」を県内24か所に設置  
新規相談受付件数 : 3,116件(H29年度)  
就労・増収者数 : 673人(H29年度)
- 社会的自立を支援した子ども・若者の数 : 379人(H25～H29年度)

# (3) 人生二毛作社会の仕組みづくり

～誰もが住み慣れた地域でいきいきと  
安心してらせる社会づくり～



## 【取組のポイント】

- シニアが培ってきた知識と経験を活用
- 積極的に就業や社会参加できる「人生二毛作」社会の実現

## 現状と課題

高齢者就業率 **全国1位**

約6割のシニアが社会参加への意欲がある

老人クラブ会員数が減少傾向

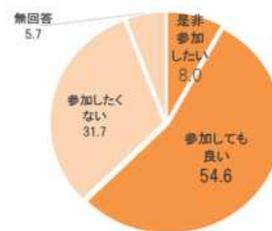
シニアの就業率

全国第1位

順位	都道府県	就業率(%)
1位	長野県	28.7
2位	山梨県	27.0
3位	島根県	25.6
4位	福井県	25.5
5位	岐阜県	24.9
全 国		22.5

(出典：総務省「2015年国勢調査：就業状態等基本集計」)

健康づくりなどの地域づくり活動に対するシニアの参加意向



(出典：長野県「平成28年高齢者生活・介護に関する実態調査」)

## 主な取組

- シニア活動推進コーディネーターによる意欲あるシニアと地域課題のマッチング (H26.4～)
- シニアの社会参加に向けた関係機関の情報共有・連携強化のため、地域ごとのネットワーク会議を開催  
10回開催 (H29年度)
- 意欲あるシニアの社会参加の機運を醸成するため、県民参加のタウンミーティングを開催  
11回開催 (H29年度)



松本地域タウンミーティング (H29.8.2)

## 成果

- 高齢者の居場所づくりや空き店舗の有効活用の取組等に、シニアが担い手として参画



空き店舗を活用した子どもの居場所づくり

コーディネーター相談対応件数 **3,512件** (H29年度)

シニアによる 高齢者や子どもの居場所づくり (H29年度)

高齢者：13か所  
子ども：3か所

## (4) 障がい者の社会参加と雇用促進

～誰にも「居場所と出番」のある“共に生きる長野県”をめざして～



県民向け手話講座



農業分野における障がい者の就労



ザワメキアート展2017 ギャラリートーク

### 【取組のポイント】

- 障がいを理解し、障がい者を応援する社会づくり
- 障がい者が能力を発揮できる環境づくり
- 障がい者雇用の促進

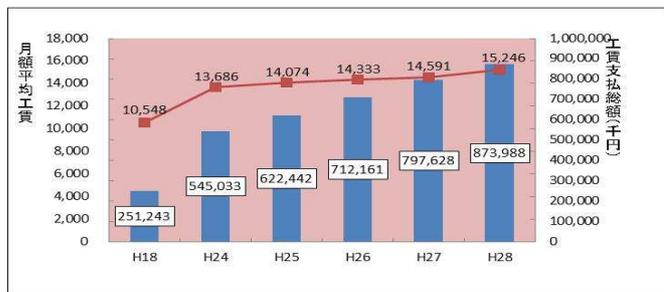
### 現状と課題

障がいに対する理解が進んでいない

平均工賃は年々上昇も、**全国平均以下**

スポーツ・文化に親しむ障がい者は減少傾向

障がい者の月額平均工賃の推移



(出展：長野県調べ)

### 主な取組

- 長野県手話言語条例(H28.3制定)に基づくろう者に対する理解促進・手話の普及
- 信州あいサポート運動\*の推進(H25.9～)
 



あいサポート運動  
シンボルマーク

\*障がいのある方が暮らしやすい共生社会をつくる県民運動
- 障がい者の工賃アップの支援とともにOJTで就労促進
- 障がい者の優れた芸術性や創造性の発信

### 成果

- 一般県民向け手話講座受講者数 **608人** (H29年度)
- あいサポーター数 **53,562人**(H29年度)  
あいサポート企業・団体 **97団体**(H29年度)
- 障がい者短期トレーニング促進事業に参加した障がい者数 **528人** (H29年度)
- ザワメキアート展 (障がい者の芸術作品展)  
～信州の障がいのある人の表現とアール・ブリュット～  
来場者数 **3,398人** (H29年度)

# (5) 多様で安心できる働き方の検討

～多様で柔軟な働き方ができる社会へ～



## 【取組のポイント】

- 短時間正社員制度や在宅勤務制度などの多様な勤務制度の導入促進
- 経済団体、労働団体、労働局等の参画による取組の推進

## 現状と課題

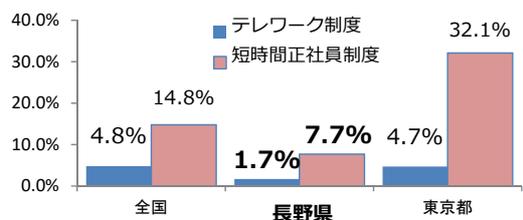
企業の多様な勤務制度の導入が進んでいない

出産・育児による離職者数 (H24.10～H29.9)  
**年間 3,400人、離職者総数の約5.6%**  
 (H19.10～H24.9: 3,760人、5.6%)

介護・看護による離職者数 (H24.10～H29.9)  
**年間 1,740人、離職者総数の約2.9%**  
 (H19.10～H24.9: 1,320人、2.0%)

(出典：総務省「H29就業構造基本調査」)

## 多様な勤務制度導入企業の割合



全国 H26総務省 (テレワーク) 厚労省 (短時間) 調べ  
 東京都 H27 男女雇用均等調査  
 長野県 H27 労働環境等実態調査

## 主な取組

- 企業訪問による多様な勤務制度の導入の働きかけ (H25.10～)
- 「職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度」(H27.7～)の拡大に向けた企業支援・情報発信
- 長野県働き方改革・女性活躍推進会議と連携して働き方改革の機運を醸成



## 成果

- アドバンス認証企業数  
 ↑ **91社** (H29年度) ← 56社 (H28年度)
  - 多様な勤務制度導入企業数  
 ↑ **226社** (H29年度) ← 208社 (H28年度)
- 社員の子育て応援宣言企業 **1,209事業所** (H29年度)

- 働き方に対する意識の変化を促すシンポジウムを開催 (H30.2)



5 雇用・社会参加プロジェクト

達成目標の進捗状況

(総括マネージャー  
雇用・就業支援担当部長)

進捗区分 ●「A」：目標値以上 ●「B」：80%以上100%未満の進捗  
●「C」：80%未満 ●「実績値なし」：H29年度実績値が把握できない  
進捗割合=(実績値-基準値)/(目標値-基準値) ・「目安値」：H25～28年の目標値

就業率 (全国順位)	年度	単位	基準値(H22)	H25	H26	H27	H28	H29
	※県内の15歳以上人口に対する15歳以上就業者の割合	目標値(目安値)	位		—	—	1位	—
	実績値	1 (58.9%)		—	—	2位 (59.0%)	—	—
	進捗区分			実績値なし	実績値なし	C	実績値なし	実績値なし
【関連データ】出典：労働力調査モデル推計値（総務省統計局）								
	指標名			H25	H26	H27	H28	H29
	年平均就業率			59.1%	59.6%	60.6%	60.8%	61.2%
	年平均就業率(全国平均)			57.0%	57.4%	57.7%	58.2%	58.9%
	全国順位			8位	6位	4位	4位	5位
(進捗状況の分析) 国勢調査のため直近の統計は平成27年度ですが、第2位となりました。なお、関連データである総務省労働力調査モデル推計値では、平成29年の年平均就業率は61.2%と徐々に上昇しています。女性の5歳ごとの就業率についてみると、全ての年代で上昇し、従来から課題である子育て期に当たる25歳～44歳の層の就業率においてもH22：70.0%→H27：74.3%となり、M字カーブの改善が見られました。第1位となった福井県（前回調査第3位）と比較すると、前回（H22）調査と今回（H27）調査とのポイント差は、本県は0.1ポイント上昇に対し、福井県は0.6ポイント上昇したため、1位となりませんでした。				(今後の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>「アドバンス認証」の普及やITを活用した新たな働き方の普及による、多様で柔軟な働き方が選択できる環境づくりの推進</li> <li>子育て期女性の再就職支援の強化</li> <li>効果的な情報発信による新規学卒者の県内就職支援</li> </ul>				

5 雇用・社会参加プロジェクト

自分の能力が仕事や公共的活動で発揮できていると思う人の割合	年度	単位	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29
		目標値(目安値)	%		69.8	71.1	72.4	73.7
	実績値	68.6		70.2	67.0	64.5	70.2	68.8
	進捗区分			A	C	C	C	C
(進捗状況の分析) 発揮できていると思う人の割合が前年度よりも低下し、目標に達しませんでした。職業別に見ると、「商工サービス業」「技能・労務職」で低下幅が大きくなっています。これらの職業は、前年度に比べて人手不足の状況が顕著になっており、多忙感の影響と予想されます。なお、自分の能力をどのような場面で発揮したいと思うかに対して、「仕事」が低下し「市民活動やボランティア活動」及び「自治会、消防団などの地域の活動」が上昇していることから、仕事以外の場面の充実を望んでいる者が増加している状況がうかがえます。				(今後の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク・ライフ・バランス推進のため、「アドバンス認証」やITを活用した新たな働き方の普及による仕事と生活の両立支援</li> <li>「一人多役」型のライフスタイルが実践できる地域の情報発信</li> </ul>				

県内高校生の就職内定率	年度	単位	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29
		目標値(目安値)	%		100.0	100.0	100.0	100.0
	実績値	99.6		99.8	99.8	99.9	99.9	99.6
	進捗区分			C	C	C	C	C
(進捗状況の分析) H29年度の県内高校生の就職内定率は99.6%であり、就職者数は前年度と比べて59人増加したものの、未就職者は13名となり、目標には達しませんでした。就職内定率は、進路変更や就職活動の時期のずれ込み等の影響でわずかに低下したものの、基調としては、引き続き高い状況が継続しています。				(今後の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>「長野県高校就職問題検討会議」における、経済界と連携した希望者全員の就職に向けた取組を推進</li> <li>ジョブカフェ信州の出前講座の積極的な活用による在学中の職業意識を醸成するとともに、地域、社会や産業界が学校を支援する仕組みを構築し、体系的なキャリア教育を推進</li> </ul>				

5 雇用・社会参加プロジェクト

県内大学生の 就職内定率	年度	単位	基準値 (H23)	H25	H26	H27	H28	H29
	目標値 (目安値)	%		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	実績値		93.9	94.1	95.5	96.6	97.0	97.8
	進捗 区分			C	A	A	A	A
<p>(進捗状況の分析)</p> <p>県内大学等卒業者の就職内定者は、H30.3末現在で97.8%と同年同期を0.8ポイント、目標値を2.8ポイント上回り、目標を達成しました。過去10年間で最も高い値であった前年度をさらに上回る高い水準となりました。</p>				<p>(今後の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校生や就活前の学生を対象に県内企業の魅力をアピールする業界研究会や県内企業の若手職員に委嘱して結成したシューカツNAGANO応援隊との交流会の開催</li> <li>就活支援ポータルサイト「シューカツNAGANO」等による学生や保護者に対する就職情報の提供</li> <li>産学官連携によるインターンシップのマッチングの実施と県内企業に対する理解促進</li> </ul>				
障がい者就職率	年度	単位	基準値 (H23)	H25	H26	H27	H28	H29
	目標値 (目安値)	%		49.9	51.2	52.5	53.8	55.0
	実績値		48.6	52.6	55.0	53.8	55.6	57.0 (全国13位)
	進捗 区分			A	A	A	A	A
<p>(進捗状況の分析)</p> <p>対前年比1.4ポイントの上昇となり、目標を達成しました。全国順位も13位で前年(H28)の20位から上昇し、順調に推移しています。(全国平均は48.4%、1位は富山県で67.5%)</p>				<p>(今後の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業等における職場実習の取組の拡大</li> <li>障害者就業・生活支援センターにおける一般就労に向けた個別支援の強化</li> </ul>				